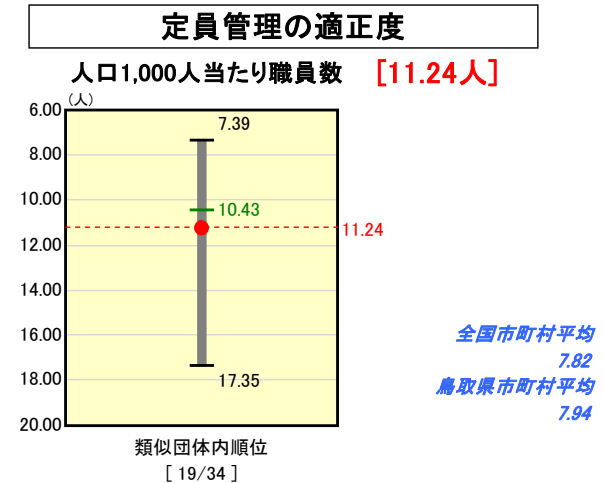
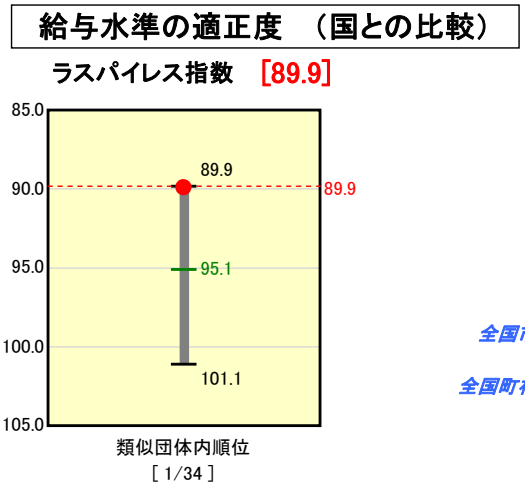
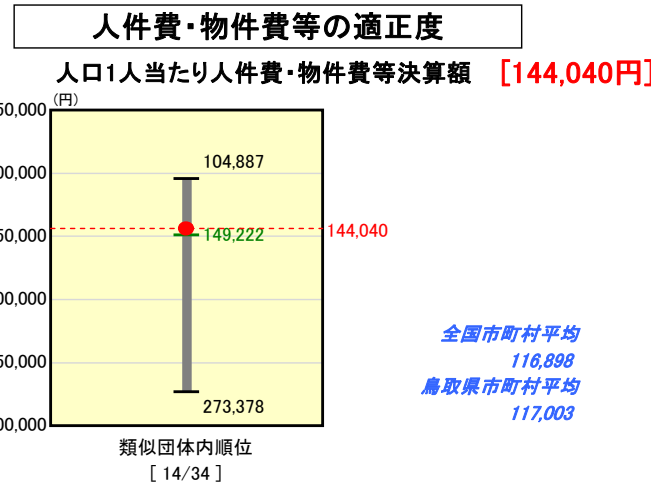
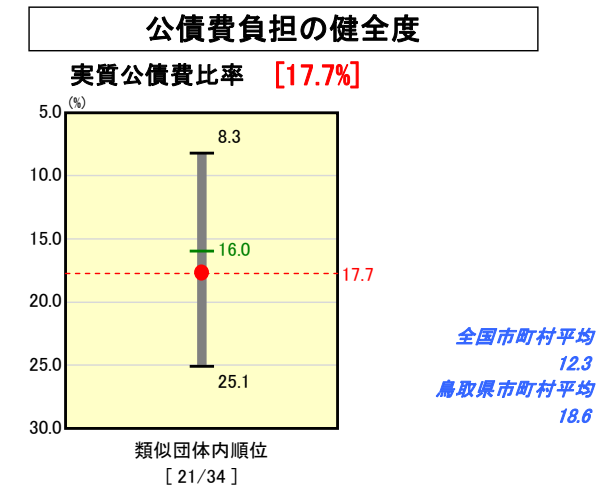
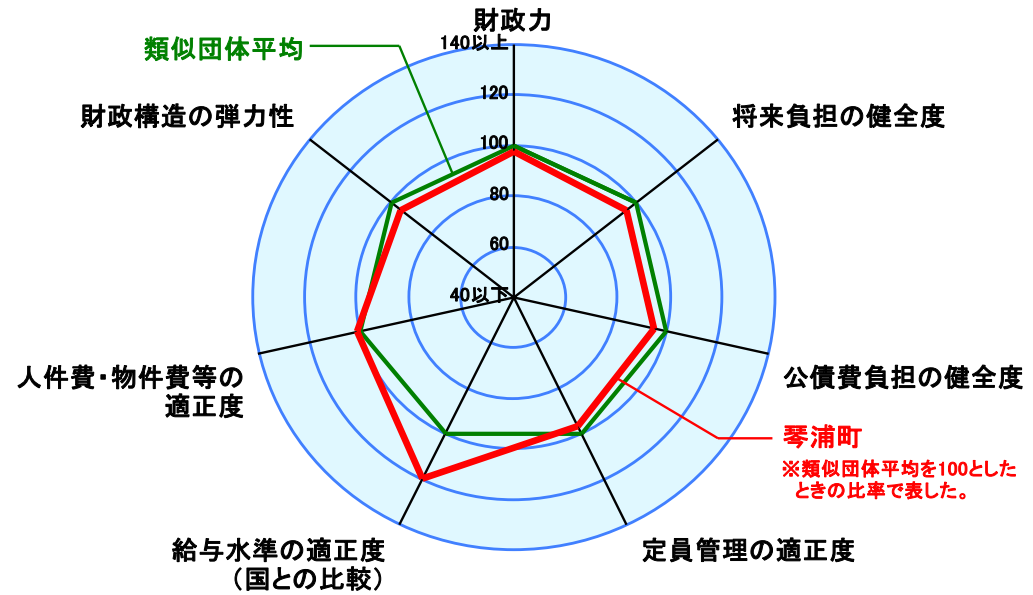
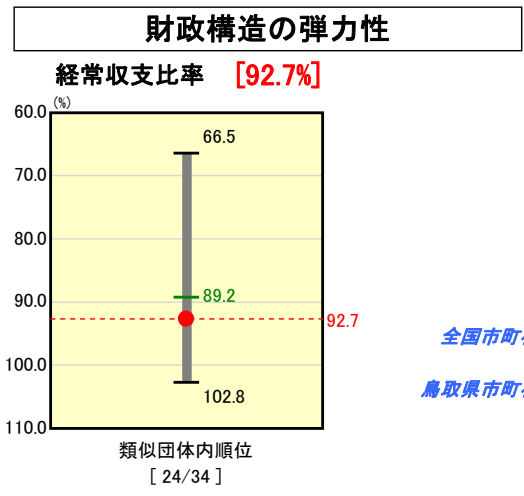
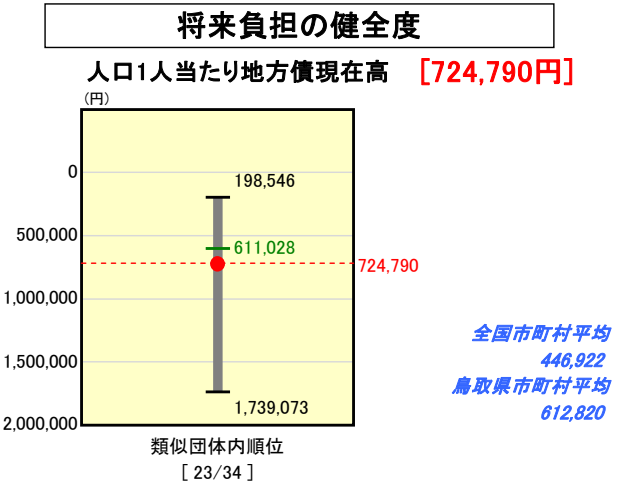
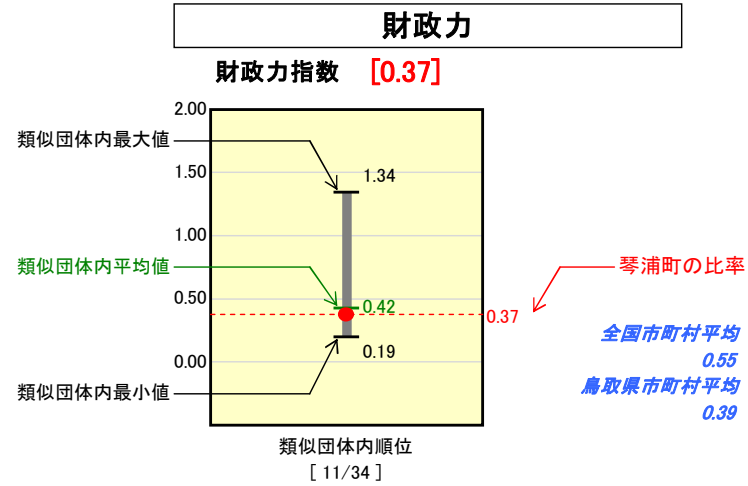


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 鳥取県 琴浦町

人口	19,666	人(H20.3.31現在)
面積	139.90	km <sup>2</sup>
歳入総額	10,741,924	千円
歳出総額	10,553,789	千円
実質収支	134,831	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
 ※ラスパイレズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

「財政力指数」  
この指数は、1に近い団体ほど財源に余裕があるといわれるもので、本町については、前年度と同じ数値でありましたが、類似団体及び鳥取県市町村の平均数値と比較しますと、それぞれ0.05及び0.02ポイント下回っています。

「経常収支比率」  
以前においては、この指数は町村にあっては70%程度が妥当であると経験的に言われており、75%を超えると弾力性が少なくなり硬直した財政内容を表すものといわれていました。しかし、近年の三位一体の構造改革等による普通交付税の減収や、百年に一度の景気低迷や公共事業の削減等により地方税の減収等が影響し、全国市町村の平均値は92.0%となり、前年度に対し1.7ポイント悪化しました。本町においては、92.7%となりましたが、前年度に対し、0.4ポイント改善できました。

「給与水準の適正度」  
ラスパイレズ指数とは、国家公務員との給与を比較する場合に使う統計上の指数で、100が国家公務員と同額の給与となるものです。100から数値が低くなればなるだけ給与水準の適正度が進んでいるものといわれるものです。本町では、平成19年度の職員給与カット3%等を反映し、前年度と同様に適正度は類似団体内1位、全国町村平均より3.3ポイント適正度が進んでいます。

「将来負担の健全度」  
人口1人当たり地方債現在高(いわゆる町の借金の現在高)は、前年度より35,652円増加しましたが、これは計算式の分母である人口が264人の減となったことと、平成19年度借入額1,873,784千円に対し償還元金1,354,595千円で差引き519,189千円の残高増となったことによります。平成19年度残高は、14,253,712千円です。